

つなごろう 社会と

発行：中野市社会教育委員会議
事務局：中野市教育委員会事務局
発行：令和5年4月

ひきこもりから社会とつながるには・・・

ひきこもりの当事者が五十歳を超え、その親が八十歳を超える、いわゆる「一八〇五〇問題」などひきこもりの問題が社会問題となつて久しい。令和三年四月に、政府は「孤独や社会孤立」の問題に対応するための会議を開催しました。時期を同じくして、県も「長野県における今後のひきこもり支援に関する検討会」を立ち上げ、令和四年に支援のあり方を取りまとめました。私たち社会教育委員も、左上にある「研究調査テーマ」を掲げ、三年目を迎えようとしています。そこで、検討会等の情報を得ながら、さらに研究調査を深めようとして取り組みました。

【研究調査テーマ】 ひきこもりとなり 社会参加ができなくなる前の段階で 社会教育委員としてかかわれること

ひきこもりを 社会の課題ととらえる

令和四年三月、県は「長野県における今後のひきこもり支援に関する検討会」で、標記のことを「ひきこもりやひきこもり支援に対する共通理解」を図るために「長野県における今後のひきこもり支援のあり方」を打ち出しました。

ひきこもりそのものが問題行動や疾病を意味するものではありません。長期的なひきこもりの状態によって心身に影響を及ぼすおそれや、社会的孤立などにつながる可能性があり、自己責任ではなく社会の課題ととらえることの重要性を強く訴えているのです。

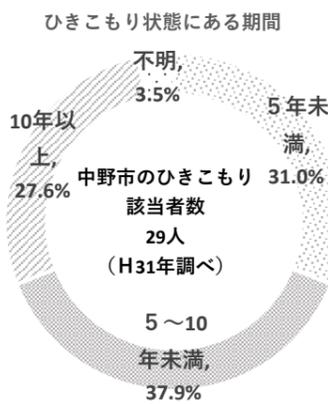
そして、具体的な取り組みとしてひきこもりに対する知識や情報を多様な手段で発信すること、ひきこもり支援の理解者や実践者を増やし、居場所の設置推進や中間的就労の受け入れなど、多様な社会参加の場づくりをすすめる等を挙げています。



中野市の状況と問題点

長野県でひきこもりの状態にある人の総数は、平成31年度時点で2290人。同年時点での中野市のひきこもり該当者数とその期間割合はグラフのとおりです。なお、令和四年度の中野市におけるひきこもり新規相談件数は9件でした。

中野市でのひきこもり期間の割合をみると、ひきこもりが長期化して10年以上へスライドしていくことが推測されます。



長期化・高齢化すると支援の手が届きにくい状態もあります。当事者が社会参加できなくなる前の段階で支援する必要があります。

【視察研修先】 春蘭の宿さかえや (山ノ内町)

春蘭(しゅらん)の宿さかえやでは、ひきこもり・不登校経験者や障がいのある人を従業員として積極的に雇用しています。

前回(令和二年度)の視察では館内をくまなく見学させていただいた。湯本代表取締役から、さかえやの現状や今後さらに目指すことをお聞きしたりしました。

今回の視察では、私たち社会教育委員と従業員の方々が一緒に働くことを通じて、従業員のみならずが目を輝かせて生き生きと働く姿を実際に見たり交流したいと考え、計画しました。

まず私たちは客室清掃を行いました。ゴミ箱にあるごみの処理や布団たたみ、浴衣・敷布・枕カバーの取外しや客室の換気、消毒などなど。このように片づけながら、床や畳の上にあるものすべてを机や棚の上に乗せて何もないようにするのが、掃除機で掃除をする従業員へバトンタッチす



▲春蘭の宿さかえやでは、幾つかの段階に分けて仕事を分担してすすめていく。

までの片付けなのです。このように、客室片付け作業から新たな客を迎え入れる準備まで、いくつかの段階に分けて進んでいるようです。

一般に、ホテルのチェックアウト後の客室片付けから迎え入れるための準備作業では二人一組になってすべての段階をやるのでしようが、そこがさかえやは違うのです。

例えば「掃除機で掃除をするだけならやれる。そこなら活躍できる」そんな従業員に対する配慮と工夫なのです。

また、さかえやでは「生活困窮者自立支援制度」という国の制度にのっとった就労訓練事業を展開しています。(裏ページ参照)

この事業は、当事者の状況に応じて福祉的就労(研修生)、中間的就労(準社員)、一般就労(契約社員)の間を行きつ戻りつしながら長く働き続けられる仕組みになっていきます。

このように、従業員に対する配慮ならびに柔軟な対応、これらの根本には「相手を認め、相手の立場に立つこと。そしてきめ細やかな多様な考えを持つこと



▲幾つかの段階に分けることで、自分の活躍できる仕事を見つけれれる。

と」を繰り返しておっしゃられていた湯本代表取締役の言葉にあるように思いました。

【学習会】 NPO法人ぱーむぼいす

研修視察を進める一方、私たちは社会教育委員として、自身の相談力(適切に相談に応じ得る力)を高めたいと考え、学習会に相談活動のエキスパートであるNPO法人ぱーむぼいすの清水美鶴氏よりお話をうかがいました。

ぱーむぼいすとは、「手のひらの声」という意味で、長野県の北信を中心に、学校生活や社会生活に違和感などを抱き、なじめない青少年やその保護者の支援を行っているNPO法人です。

学校生活や日常生活についての相談をはじめ、いくつかの支援を行っています。令和四年度から居場所支援事業「日なた」を始めました。「日なた」では、不登校の状態にあるけれど、中野市の中間教室(※)を利用していない児童生徒を対象としていきます。これまで遠方で中間教室に通いづらかった児童生徒にも、送迎サービスを利用できるので(実費負担)、学校復帰を含めた社会的自立に向けてひとりひとりに応じた支援の提供をすることができま

す。(裏ページ参照)
当事者や保護者を孤立させないよう切れない相談支援を行いながら、当事者が気軽に立ち寄り何でも話すことのできる身近な居場所づくりをするには、関係諸機関や地域住民、学校等と連携を広げたり深めたりすることが重要だと改めて教えていただきました。

学習会に出席した行政担当者(学校教育関連、子育て関連、福祉関連)は、「『日なた』のような子どもの居場所支援があると救われ

る親子も多いのではないかと期待を寄せていました。一方で子どもの居場所の少なさを「子ども立場からの情報共有と連携が難しい」など現場の声もありました。「つながらずらい家族に寄り添ったばいむぼいすさんの支援の方法には学ばせていただくことが多い」と、今回の学習会で情報を共有できたという感想もありました。



▲清水氏より、居場所支援事業の説明があり子ども目線に立った寄り添い方を学ばせていただきました。

私たち社会教育委員が「今」伝えたいこと

※中間教室とは、学校へ行けない状態が続いたりしている小・中学生のための施設です。中野市には「中野市ハロールドーム」があります。

私たちは、研修視察や学習会を通して学び得た知識や情報を、市民の皆様が発信していくことの重要性を強く感じています。

ひきこもりは当事者やその家族だけの問題ではありません。私たちはひきこもりに関する情報を広く発信し、ひきこもりについて知ってほしいと思っています。

そこで、さかえやさんから学ばせていただいた「就労訓練事業」及び「ばいむぼいすさんの新規事業である「日なた」について情報発信いたします。

(NPO法人ばいむぼいすHPより抜粋)

Table with 5 rows and 2 columns: 日なたって? (What is NPO daynata?), 特徴は? (Features), 対象は? (Target audience), 費用は? (Fees), 問い合わせ先は? (Contact info).

日中の学習・生活支援事業「日なた」



(「生活困窮者のための就労訓練事業を考えてみませんか?」より)

Table with 4 rows and 2 columns: 就労訓練事業って? (What is job training?), どのようなことをするのか? (What activities are involved?), 対象者は? (Who is eligible?), どの事業所が就労訓練事業をしているのか? (Which organizations offer this?).

就労訓練事業 (生活困窮者自立支援制度)



～あなたのまわりの相談窓口～



Table listing consultation windows with columns: 機関 (Institution), 電話番号 (Phone number), 相談内容 (Consultation content).

【ひきこもりについての相談窓口】

- List of hotlines for hikikomori support, including Nishino City Health and Welfare Department, Nishino City Life Employment Support Center, and others.



※相談は、平日8:30～17:15です。

第1号(令和3年4月発行)は ↓こちらからご覧いただけます↓



【編集後記】 令和5年新春早々「飯田の施設心理虐待」と大きく報道されました。この中で、その施設で働く職員の方々が、日々の業務で子どもたちを大切に育ててほしいという思いを込めて、無意識的に子どもたちを苦しめていたことが明らかになりました。...



中野市社会教育委員長 増田正明 副委員長 阿部恵子 委員 小坂直子、田端英樹、土屋美佐子、宮本和広、山田正彦、工藤二子 (委員は五十音順 敬称略)